

常磐線佐貫駅周辺地域整備基本構想に係る意見交換会会議録（馴柴）

日時	平成 28 年 1 月 30 日（土）10 時 00 分～11 時 30 分	
場所	馴柴コミュニティセンター	
出席者	市民	36 名
	市	中山市長 松尾総合政策部長，企画課：宮川課長，大貫課長補佐，廣田課長補佐，関ヶ原係長，沼崎係長，小崎主幹
	その他	株式会社日本総合研究所
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の皆さんとの意見交換会 次第 ・常磐線佐貫駅周辺地域整備基本構想（案）策定に係る検討状況について ・アンケート用紙 	

【市民から出された主な意見（まとめ）】

- ・ 構想案の検討方法について
 - 市からのイメージを示して欲しい
 - 佐貫駅周辺地域に係る現状の法規制等を示した分かりやすい資料が欲しい
 - 検討テーマごとに部会を作り，意見の言いやすい場を設けて欲しい
 - 構想の期限や指標を示して欲しい
- ・ 駅周辺の改善について
 - 駅のトイレを誰でも使いやすいように改善して欲しい
 - 企業を誘致するなら，インターネット環境の改善が必要である
 - 東側ロータリーを 2 階建にして欲しい
 - 電車の発車メロディを流して欲しい
 - 佐貫駅を拠点としたウォーキング，サイクリングコースを設けて欲しい
 - 駅周辺に官庁街を作って欲しい
 - 案内マップに旧街道の名前を入れるか，現地に案内板を設けて欲しい
- ・ 道の駅について
 - 採算の合う道の駅を造って欲しい
 - 龍ヶ崎にある道の駅だということが分かるような名前にしてほしい
- ・ その他
 - 流通経済大学との連携を進めて欲しい

【交換会内容】

1. 開会，市長あいさつ

司会より開会のあいさつ，続いて，中山市長よりあいさつ。

2. 市からの説明

(1) 開催趣旨について

市より開催趣旨についての説明。

(2) 常磐線佐貫駅周辺地域整備基本構想（案）策定に係る検討状況について

市より検討状況について、スライドを用いて説明。

3. 意見交換

- ・ (市民)市が佐貫駅周辺をどのような形にしたいのかこの説明ではイメージが湧いてこない。ある程度の構想のイメージを示すべきではないか。
 - (市) 現状の佐貫駅周辺は、土地の高度利用がされておらず、本来なら駅前にあるようなもの（ファミレス、喫茶店、本屋など）が整備されていない。佐貫駅に来た時に、活気のあるまちだなど、思ってもらえることを目指したい。人口増加、企業の誘致もあわせて検討し、イメージを確固たるものにしていきたい。
- ・ (市民) 駅周辺の土地、建物、農地、牛久沼に関する法律はどのようなものがあるのか。検討を進めるにあたって、現状の法規制などを分かりやすい資料で示してほしい。一般の人たちに知ってもらうことが大切ではないか。
 - (市) 用途地域や都市計画等の資料については、市民の皆さんにも分かりやすいものを用意するように心がけたい。用途地域の関係で、求める機能に対して、制限がかかるなどの課題もあるが、必要に応じて都市計画の変更も積極的に行っていきたいと思っている。今の段階では、率直に駅前にどのような機能が欲しい、どのような機能が必要、などの意見を市民の皆さんからいただいてから、法律との兼ね合いを検討し、構想を策定していきたいと考えている。
- ・ (市民) 龍ヶ崎市は30年前からなにも変わっていない。よく開催される住民説明会でも出席者は比較的高齢のリタイアした人が多く、若い人がいない。市が何を变えたいのか、わからない。市からの具体的な提案はないのか。たたき台もない状態で、意見を求められても答えようがない。
 - (市) 龍ヶ崎市は、今までにない人口減少の課題に直面しており、ニュータウンでも人口が減少する。龍ヶ崎に住む人を増やせるように、まちのトータルイメージアップは必須になっている。龍ヶ崎市全体を考えた時に、佐貫駅周辺は、未利用地が多く、とてもポテンシャルの高いエリアであることが言える。
 - (市) 最初に説明したとおり、まず第1段階で市民の皆さんから要望や意見をいただき、それを反映して構想を作成し、5月頃にもう一度構想に対する意見交換会を予定している。今回の意見交換会は、構想策定の最初の段階で意見を聴く場であり、その趣旨をご理解いただきたい。
 - (市) 市としてもPRが不十分な点はある。幅広い年齢層に関心を持ってもらえるように努力はしていきたい。
- ・ (市民) 佐貫駅西口・東口ともにトイレが車いすの方、足の不自由な方にはとても不便

で、人によっては近隣のコンビニまで借りにいっている状況にある。是非改善してほしい。

- (市) 一度精査した上で、可能なことは必要に応じて改善を図る。
- ・ (市民) 寄せられた意見の中に「駅前にミニビジネスセンターを設置」とある。業種にもよるが、佐貫駅周辺のインターネット環境は劣悪である。インターネットの環境整備も行わなければ、新しい企業も来てくれないのではとってしまう。WiFi等の整備を行ってほしい。
 - (市) インターネット環境の改善については、企業を誘致する上で大切である。ビジネスセンターはあくまで寄せられた意見の一つであるが、誘致する場合は検討を進めたい。
- ・ (市民) 例えば、道の駅など、テーマに沿って部会を作り、検討を進めるのも一つの手ではないか。今回のような形だと、意見が出にくいと思う。
 - (市) 今回の構想案の策定は、スケジュールが決まっているが、構想案を策定後にも検討は続いていく。そのプロセスの中で、部会のような形が実現できるか可能かどうかを検討したい。意見がしやすい機会を増やしていきたいと思う。
- ・ (市民) 東口ロータリー改修事業について、平面的にレイアウトを変更するだけでは、あまり効果は期待できないと考えている。建設費もかかると思うが、ロータリーを2階建にし、1階はバス、タクシー、2階は送迎用自家用車のロータリーにしてはどうか。
 - (市) 予算との兼ね合いもあるが、駅前の広場は魅力づくりにとって重要なポイントになってくる。にぎわいがあるが車の混雑がない、ロータリーにしたいと考えている。
- ・ (市民) 佐貫駅でも列車の発車メロディを導入してはどうか。例えば龍をイメージした曲などを使うなどして、街のイメージアップにつなげてはどうか。
 - (市) 積極的に検討を進め、JR 東日本とも相談をしている。上りと、下りで曲を変えることも出来るので、引き続き検討を進めたい。
- ・ (市民) 佐貫駅を拠点として、ウォーキング、サイクリングコースをつくり、金龍寺、星宮神社も回れるようなコースをつくってほしい。
 - (市) 地域の資源を活かし、散策コースの既存のコースとあわせて、コースの選択肢を増やしていきたいと思っている。
- ・ (市民) 長期的な話ではあるが、駅周辺に官庁街を作ってほしい。そうすれば、人も集まるのではないか。
 - (市) 国や県の出先機関に着目している。かつては龍ヶ崎も出先機関が多かったが、県の土木事務所が工事事務所に縮小されるなど、全体として周辺の他市に移転する傾向にある。税務署についても佐貫にとどまってもらいたいと考えている。公共交通の充実を図り、龍ヶ崎市としてのコンパクトシティの実現を目指していきたいと考えている。

- ・ (市民) 道の駅は、採算のとれる道の駅であるべきで、地元のブランド製品の販売が出来る場所であってほしい。
 - (市) 牛久沼は、非常に夕焼けが綺麗でアピールできるものになると考えている。市外の客だけでなく市民の人にも利用してほしいと考えている。一方で、佐貫駅から牛久沼までのアクセスが現状あまり良くないため、同時に検討していく必要がある。
- ・ (市民) 駅前にある、案内地図に「旧水戸街道」の表記が入っていないのはなぜか。駅のそばに旧街道があるのは近隣では珍しく、市外からも観光客が来ている。市としても観光資源を掘り起こしてほしい、せめて案内板に表記を加えるなどはしてほしい。
 - (市) ご意見をいただきながら、魅力付けを進めていきたい。
- ・ (市民) 「ふるさと龍ヶ崎戦略プラン」の意見交換会にも参加したが、その後の期限設定や進捗の状況が見えてこず、計画を出しっぱなしのように感じる。いつを期限としているのか。今回の構想に関しても、どの段階でどういう目途なのかを示すようにして出しっぱなしにならないようにしてほしい。
 - (市) 「ふるさと龍ヶ崎戦略プラン」についても、進捗の指標を示していたが、伝わっていなかったことは、反省しなければならない。今回の構想では、短期的・中期的・長期的にそれぞれ実施していくものを定めていきたいと考えている。
- ・ (市民) 流通経済大学の国際観光学科の協力は得られないのか。学生の手も借りてアンケート等を行えばよい。
 - (市) 流通経済大学とは市全体で連携協定を締結している。今後も引き続き連携を深めていく予定である。
- ・ (市民) 道路に「ほたる通」「白鳥通」などの名前が付いているが、意図がわからない。
 - (市) 道路の名前については、制定当時小中学生から名前を募集した。例えば、ほたる通に関しては、ほたる復活の取り組みをされている地域もあるので、その意を反映した名づけになっている。
- ・ (市民) 駅前子ども送迎ステーションの送迎バスは、どこのバスを使うのか？
 - (市) 各幼稚園、各保育園にヒアリングを行い、検討した結果、送迎ルートの変更が難しいこと、ロータリーの混雑が予想されることなどから、まずは、市の園児バスを使用することになった。
- ・ (市民) 市のある程度の考えを示してもらえないと、何とも言えない。
 - (市) 様々な課題があるが、佐貫駅の東西の分断をつなぐのが一つのテーマだと言える。例えば、東と西をつなぐ跨線道路橋の建設などの夢を描くことも必要だと考えている。もう一つ跨線道路橋があれば、近接する既存の県道の跨線道路橋の改修も(通行止め等が可能になり)可能になり、それによって、さらに利便性が高まると考えている。
- ・ (市民) 道の駅の名称に「牛久沼」が入ると、牛久市だと勘違いする人が多くなるので

はないか。名称については、よく検討したほうがよい。

- (市) 市としても名称のつけ方について検討が必要だと認識している。「龍ヶ崎牛久沼道の駅」のように龍ヶ崎を入れたり、愛称を付けたりするなど、検討が必要である。また、龍ヶ崎市の産品だけで通年で販売を行うのは困難なため、周辺市町村と協力して、1年を通して農産物の販売が出来るように検討していきたい。
- ・ (市民) 同じ龍ヶ崎市でも、佐貫駅周辺があまり発展しない一方、龍ヶ岡地区の発展ぶりはすさまじい。発展した理由は何なのか、究明してみると佐貫駅周辺にも活かせるヒントがあるかもしれない。